

蛍の畦道

生活景に着目した風景イベントによる地域交流の活性化

— 愛媛県松野町目黒地区における取り組み —

東京大学： 児玉大樹 渡辺美穂

愛媛大学： 上田真弓 濱上洋平

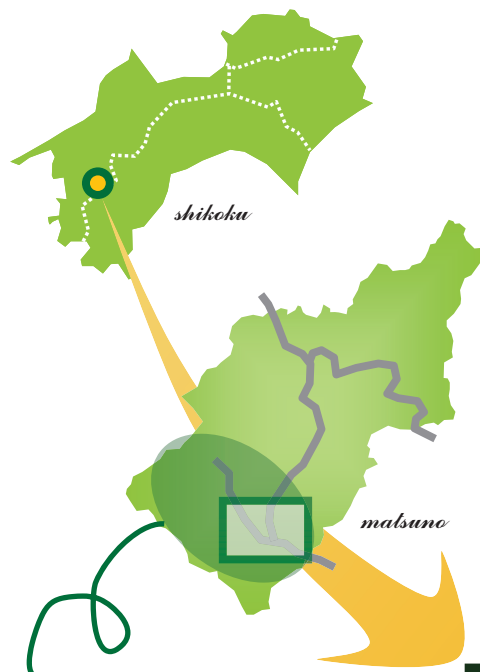


1 概要

近年、高齢化、過疎化に伴う担い手不足により、集落の衰退、田畑を中心とする農村風景の崩壊が日本の各地域で深刻な問題となってきている。

愛媛県松野町目黒地区は、高知県との県境に位置し、1000m級の山々に周囲を囲まれている。地区の中心を流れる目黒川は、四万十川の支流にあたり、蛍舞う美しい川である。人口は400人、人口減少が続き、小学校の全校児童が9人という典型的な過疎集落である。このままでは人と共に失われていく山・川・田という目黒の美しい風景を守っていくために、この地域の地域らしさを活かしたまちづくり計画を提案する。

本提案は、風景づくりからまちづくりを構想したものである。「みつける」「守り育てる」「伝える」をキーコンセプトとし、地域の生活景である畦道を舞台として、民・学・官の協働によるライトアップイベントや音楽会、風景カフェなどの活動を通じて、地域交流の活性化を図るプランを提案する。



meguro-elementary school area-

目黒地区 area

人口：441人
戸数：179戸
面積：17.55km²
小学校の児童数：9人
最寄空港までの距離：107.2km
所要時間：3時間17分

(2004年データ)



2 提案

地域の生活景
畦道を舞台とした活動による
風景まちづくり

KEY CONCEPT

- ・みつける
- ・守り育てる
- ・伝える



○地域資源を活かした風景活動の実践

子供たちへの風景教育

- 風景歩き授業の導入 み 伝
 - 農作業実習（田植え、稲刈り） 守 伝
- 次の世代を担っていく子供たちに地域への愛着を持ってもらうと共に、農作業という技術を伝えていく。

風景イベント

- ライトアップイベント み 伝
地域住民で灯籠を1人1つ作成し、畦道に並べ、畦道において風景歩きを行う住民参加型イベント。普段この地に住む方にとってはなんでもない風景を灯りで照らすことで、いつもとは違う視点で風景を捉えてもらう。風景への気づきの場を創出することにより、地域の風景に対する人々の関心を高める。
- 音楽会 み 伝
稲刈り後の田んぼスペースを活用した野外コンサートを開催。地域のよさを音楽を楽しみながら参加者みんなで共感、共有する。

蛍の泉 守 伝

蛍の飼育施設をつくり、蛍舞う風景の保存に取り組むと共に、地区のアピールポイントのひとつである蛍における交流の場とする。

風景カフェ み 伝

畦道カフェ。風景を楽しめる場所にベンチを置き、飲み物は側を流れる水路で冷やし、地域の「食」を楽しめるカフェの創造。地域内の交流の活性化、外部地域への周知効果を狙う。

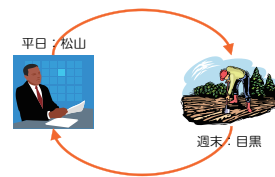
○農生活の確立

お米のブランド化 守 伝

米の一般的な評価を行い、ブランド米を目指す。また、年1回目黒地区において、お米の品評会を行い、順位をつけることにより競争意識を高め、よりおいしいお米の生産を促進させる。



週末農生活体験システム 守 伝

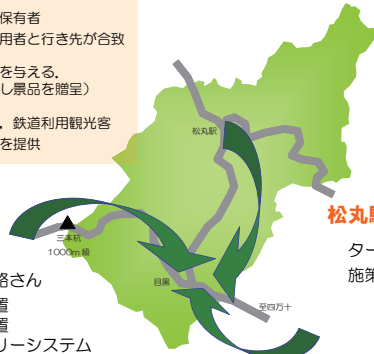


- 車で2〜3時間程度で、ある程度の規模を持った都市をターゲットとする（松山など）
 - 宿泊には空き民家を活用
 - 平日は地域の方が田畑を管理、週末には一緒に農作業
 - 滞在期間中にイベント等への参加
- 都市と農村との交流を促進させると共に、地域の情報発信を行う。また定年退職後、地域への定住を狙う。

目黒への動線を考える

～1日に数本のバスのみ（土日祝は休）

- 相乗りシステムの構築 -
- 提供者：目黒地区在住の自動車保有者
 - 車に目印を付け、利用者と行き先が合致すれば乗車させる。
 - 提供者にはポイントを与える。（後にポイント換算し景品を贈呈）
- 利用者：地域のお年寄り・子供、鉄道利用観光客
 - 無料の交通システムを提供



○ターゲットを絞った来訪ルートの整備

- 三本杭ルート**
- ターゲット：お遍路さん
施策：案内板の設置
休憩所の設置
スタンプラリーシステム
三本杭越え特典（特産品贈呈）

- 松丸駅ルート**
- ターゲット：鉄道利用者
施策：相乗りシステム
目黒地区内でのサイクリングシステム（無料）

- 四万十川ルート**
- ターゲット：四万十からの観光客
施策：案内板の設置
駐車スペースの整備
回遊特典（特産品贈呈）

子供たちとの活動による地域内交流の活性化
イベントによる外部への周知、地域内外の交流活性化

集落コミュニティによる地域らしさを活かしたまちづくり

蛍の畦道プロジェクト

Place:
愛媛県松野町目黒地区

Participant:
松野南小学校児童、地域の人たち、愛媛大学学生、他

Activity:

風景歩き 2004年5月16日

松野南小学校の子供たちと大学生が一緒に小学校周辺を歩きました。風景写真を撮るのきっかけでライトアップする予定の畦道へ行ったり、丘の上によって目黒地区全体の景色を見たり、近くの小川で管舟レースをして遊んだりしながらきれいな景色や自然の好きな風景を探りました。農作業の後は、子供たちは昼食を食べました。その後はTシャツにプリントして、管舟の当日、参加者みんなで頂きました。

灯籠づくり 2004年5月23日

畦道に並べる灯籠を子供たち、地域の方、大学生のみんなで作りました。きりぎりすの音を聞いたり、交差点近くの畦道を横で歩いたり、和紙を糊に貼って作ったりと楽しい作業でしたが子供たちは先生や大学生、地域の人たちに手伝ってもらいながらがんばって製作しました。灯籠が完成した後、部屋を暗くして火を灯すと歓声が上がりました。

田植え 2004年6月2日

畦道のそばにある田んぼで田植えをしました。地域の農家の皆さんの協力により、地域の方が見守る中、大学生も一緒にみんなが楽しみながら田んぼに入りました。みんなとても喜んで田植えをしました。

蛍ウォッチング 2004年6月4日

目黒の里菜を守る会のみさんと松野南小学校の児童で蛍ウォッチングに行きました。飛び交う蛍に、一同感動しました。

蛍祭り 2004年6月17日

松野町をはじめとして、周辺地域からたくさんの方が参加しました。オープニングには、小学生による歓迎の歌、また、蛍祭りの準備で行ってきたことについて発表しました。また、夜の景観は特別観望会モニターが行われました。観望会では自分で作った灯籠をもって登場し、自分たちで考えた風景の絵を表現しました。会の後、参加者全員が灯籠を持って帰って行き、ひとひとつ灯籠の灯りを灯して行きました。灯籠で照らされた畦道の風景はとても印象的でした。

上映会 2004年8月14日

目黒地区の蛍祭りの当日、蛍祭りの様子の上映会を行いました。祭りの当日参加できなかった方、久しぶりに目黒に帰ってきた方、いろいろな方に蛍祭りの映像を楽しんでもらいました。

畦道コンサート 2004年10月14日

稲刈りの終わった田んぼに舞台を設置し、コンサートを開催しました。小学生による演奏、合唱や大学生とのコラボレーション、地域の方から大人数など目黒に集まりました。地域の畦道の田んぼで収穫されたお米を煮て食べて、みんなで食べました。